

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

① 市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

市役所内で若手職員のみのを会を設けて、部署関係なく意見交換会を何か月に一回と決めて定期的に行えるとよいと思います。若手だけでなく、中堅職員、役職職員もそれぞれ定期的にこれからの加東市の為の政策を考えていけたらいいなとおもいます。そして、それぞれの代表が最終的に意見交換をして、次のステップを踏んでいけたらとても素晴らしいと思いました。

沢山の人の前（しかも、知識・経験の多い方々の前）でなかなか自分の意見を宣べることが大変難しいことだと今回改めて感じました。気軽に話そうと言われても、気を遣ってしまい易いものです。もう少しコミュニケーションをとれば、もう少し打ち解けて話せる気がしました。沢山の職員がおられるわけですから、縦割りで班を作って、スポーツや観光などを通して、一人ひとりを理解できる時間が欲しいと思いました。その中でまた色々な意見が話せたらいいなと思いました。勝手な意見ですが、その活動の一部で B 級グルメで加東市の特産物を使って、それを広めて加東市の名を広められたら、それが色々な効果を呼ぶ気がします。

② 市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

今回このような行財政改革推進委員として参加させていただき、各業界の方々からの意見を聞かせていただけて、大変よい勉強になりました。職員と住民でこれからの加東市をより良い町にするために成すべきことを話し合う、このような機会を職員全員が参加することができたら、もっと士気が上がると思いました。

※平成 23 年 2 月 25 日（金）までに提出ください。

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

①「市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

行財政改革大綱第 I 部 (素案) の P 8 にあるように、加東市の人口について、「50 年後には 2 万 5 千人に減少すると予測」されていますが、このような事態に歯止めをかける一環として若者にとってのまちの魅力づくりが喫緊の課題であると考えます。

そこで、同素案にある「次代を担う若者が集い交流し、情報を発信できるような機会やまちの魅力の創設、仕組みづくり」を具体化するために、例えば、市役所の若手職員と兵庫教育大学の学部学生・大学院生が意見交換をしながら若者の意見を汲み上げ、市長へ具体的な提案する仕組みを検討したらどうでしょうか・

②「市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

※平成 23 年 2 月 25 日 (金) までに提出ください。

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

① 市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

一、市役所の風土として、若手職員（現場第1線担当者）の意見を聴取したいと考えている事を、役所内に市長名で告知する事からスタート。

一、各部署に「仮称・改善委員会」を設定し、5～6名のグループ小集団を指名し、毎週テーマ

設定に基づき改善（案）を部署長（部長）に提出する仕組みとし、週1回の市長出席（結果の出る会議）の「仮称・改善委員会」で各部署からの提案を審議し、方向性・結果を出し、

職員全員に告知する仕組みを作る事。

※運営方法は、特に優先順位の上位からテーマ設定を用意する（例えば10項目）

一、市長と各部署長で協議し、各部署ごとに、主旨に適した人材を指名し、市長直轄「仮称・コミュニケーション&意見収集委員会」を設置し、月に2回の開催で、現場若手職員の生の声・生の質問を収集し、可能な限りその会で、結論を出し職員全員に告知する。（運営方法を詰める事必要）

一、各企業でも行われているように、若手職員（基準を決める）提案ボックスを設定し、週1回市長参画会議で審議し結論を出し、職員全員に告知する。

（テーマを決めず、どんな視点でも良しとし、記名・無記名可とする）

② 市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

◎市役所の理念と職員の理念、及び行動指針の明確化と徹底。かつ市民への告知の徹底からスタート

一、各部署の役割、部署メンバーの役割の明確化と権限と責任の明確化の実現

一、各部署の年度目標の明確化と、それに連動した職員個人目標の明確化の実現。

一、職員1人1人が「やりがい」・「達成感」を感じる職場風土と仕組みになっているかの検証。

一、職員1人1人の主体性の向上・市民満足の向上意識の醸成・職員1人1人のスキルアップ、能力アップ等々に対しての、教育、研修システムの実現。

◎上記の内容が、人事考課制度運用の前提として、制度の中に組み込まれている事が、必要だと思います。

※平成23年2月25日（金）までに提出ください。

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

①「市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

若手職員の意見と言っても 提案や不満、要望などいろんな意見があると思いますが、聴取するのは難しいのではと思います。個人的な意見ですが、先日の会議の時に加東市が住みよいか住んでみたい街の上位に入っていると副市長が言われていました。本年度も住みよさランキング全国31位前年38位 兵庫県では芦屋に次いで2位 と載っていました。快適度が全国12位?だと思います。これは加東市にとっても素晴らしい事でもあります。率直になんで良いのと言われてもピンと来ないのが現状だと思います。その中でも行政のサービスや仕事ぶり状況なども重なり合ってこのような結果も含まれないとこのような順位にはならないと思います。ここで若手中心のプロジェクトチームを作り加東市のすべての良い所や悪いところなどをとことん調べもっと上位、兵庫県で1位を目指せるような事を研究してもらってはどうかと思います。そのような仕事の中で若手職員一人ひとりの長所も見えてくるとと思いますし、行政運営をもっと良くしようとする意識が生まれてくるとと思います。若手は目指すところがあって夢がある事は一番意見が出るとと思いますし、提案も出てくると思います。もちろんやる気も！日ごろは仕事に終わられて忙しいとも思いますが、そのような夢のある仕事を若手中心でさせてあげてはどうかと思います。ただ単に上司が意見を徴収する事は脅しながら聞いているようにしか見えません。意見箱のようなものは苦情箱です。自然に前向きな意見が出るような環境が一番だと思います。

②「市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

※平成 23 年 2 月 25 日（金）までに提出ください。

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

①「市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

市長直轄の意見具申グループ編成やメールなどがあり、意見が言いやすい環境あることは、大変いいことだと思います。

行政経営が、少数の首脳者で行われることにより気付かないことも多くあります。いろんな年代層、性別の違う市役所職員の意見を聴取し反映することが、市民の行政サービスへの満足度を向上させることにつながるのではないのでしょうか。

市役所組織の中には、まだまだ上司からの命令がなければ行動できないという受動的な意識が過去から潜在的に存在しています。この意識を改革しないことには、若手職員からの能動的な意見や行動にはつながらないと思うのです。

行政運営を管理から経営に転換すると言うことは、ただ言葉だけで終わってはいけません。市役所という組織全体がいかに効率よく機能するかどうかで、行政コストを削減させても、きっと市民の満足度向上が計られると考えます。

②「市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

公務員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務するわけであるので、その義務と権利が法律により定められている。

公務員は、安定していてリストラの対象にはならないとか、給与や退職金また休暇等が法律により守られているため、現在のような不況の時代には人気の職業となっている。

市役所職員の士気を上げるためには、より一層の公務員としての高い意識をもつことと、法律の制限の範囲内にはなりますが、給与体系を見直すことにより、頑張れば給与があがるという成果主義をとり入れることだと思います。

公務員の給与は、人事院の給与勧告により、それにそったものになっていると思うが、市民への情報公開をしたうえで、公務員の権利も守りつつ、能動的に働ける職員を育てることがこれからの時代には必要なのではないのでしょうか。またそうなることが行政コストの削減にも寄与すると思います。

※平成 23 年 2 月 25 日（金）までに提出ください。

■ F A X : 0 7 9 5 - 4 2 - 5 6 3 3

(加東市企画部企画政策課 行)

委員名 : ○○○○

① 市役所の若手職員の意見を聴取し、反映できるような仕組みの整備」の提案等

下記 2 点が大切と思います。

○若手職員とベテラン職員の互いの信頼関係構築

- ・交流会（飲み会。できるかどうかわかりませんが。）
- ・答えの決まった会議や協議はしない
- ・提案に対して出来ない理由を述べる、考える、という会にしない

○若手職員の交流

- ・青年部会、あるいは独身会のような会で意見交換や向上を図る
- ・会からの提案を期日を決めて年数回行う。
- ・良い提案に対しての報奨制

② 市役所の職員の士気が上がるような行政運営の検討」の提案等

市民からの感謝の声や、他自治体との比較による加東市の優位を承知するとともに検証し、次へと活かしてはどうか。

※平成 23 年 2 月 25 日（金）までに提出ください。